

表93-1 徳島県 基本データ

施設種類	施設数	指定医師数(人)	施行件数と各方法の頻度					合併症件数				
			総数	掻爬法 (%)	吸引法 (%)	併用法 (%)	薬物法 (%)	総数	掻爬法	吸引法	併用法	薬物法
病院	8	21	76	76 (100.)	0 (.)	0 (.)	0 (.)	0	0	0	0	0
診療所	14	17	545	80 (14.7)	185 (33.9)	280 (51.4)	0 (.)	1	0	0	1	0
合計	22	38	621	156 (25.1)	185 (29.8)	280 (45.1)	0 (.)	1	0	0	1	0

表93-2 徳島県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症数 (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=621)	掻爬法(n=156)	吸引法(n=185)	併用法(n=280)	薬物法(n=0)
子宮穿孔	1			1	
頸管裂傷					
大量出血					
重症感染症					
血栓・塞栓症					
アナフィラキシー					
遺残による再手術					
他					
全合併症	1	0	0	1	0

空欄は報告0件を表す

表93-3 徳島県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症頻度(施行数10万件当たり) (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=621)	掻爬法(n=156)	吸引法(n=185)	併用法(n=280)	薬物法(n=0)
子宮穿孔	161.0			357.1	NA
頸管裂傷					NA
大量出血					NA
重症感染症					NA
血栓・塞栓症					NA
アナフィラキシー					NA
遺残による再手術					NA
他					NA
全合併症	161.0	0.0	0.0	357.1	NA

空欄は報告0件を表す

表94-1 香川県 基本データ

施設種類	施設数	指定医師数(人)	施行件数と各方法の頻度					合併症件数				
			総数	掻爬法 (%)	吸引法 (%)	併用法 (%)	薬物法 (%)	総数	掻爬法	吸引法	併用法	薬物法
病院	10	21	159	43 (27.)	99 (62.3)	10 (6.3)	7 (4.4)	0	0	0	0	0
診療所	9	13	838	329 (39.3)	453 (54.1)	56 (6.7)	0 (.)	1	0	0	1	0
合計	19	34	997	372 (37.3)	552 (55.4)	66 (6.6)	7 (.7)	1	0	0	1	0

表94-2 香川県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症数 (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=997)	掻爬法(n=372)	吸引法(n=552)	併用法(n=66)	薬物法(n=7)
子宮穿孔					
頸管裂傷					
大量出血	1			1	
重症感染症					
血栓・塞栓症					
アナフィラキシー					
遺残による再手術					
他					
全合併症	1	0	0	1	0

空欄は報告0件を表す

表94-3 香川県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症頻度(施行数10万件当たり) (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=997)	掻爬法(n=372)	吸引法(n=552)	併用法(n=66)	薬物法(n=7)
子宮穿孔					
頸管裂傷					
大量出血	100.3			1515.2	
重症感染症					
血栓・塞栓症					
アナフィラキシー					
遺残による再手術					
他					
全合併症	100.3	0.0	0.0	1515.2	0.0

空欄は報告0件を表す

表95-1 愛媛県 基本データ

施設種類	施設数	指定医師数(人)	施行件数と各方法の頻度				合併症件数					
			総数	掻爬法 (%)	吸引法 (%)	併用法 (%)	薬物法 (%)	総数	掻爬法	吸引法	併用法	薬物法
病院	11	19	181	51 (28.2)	15 (8.3)	115 (63.5)	0 (.)	0	0	0	0	0
診療所	22	24	1209	203 (16.8)	135 (11.2)	871 (72.)	0 (.)	6	2	0	4	0
合計	33	43	1390	254 (18.3)	150 (10.8)	986 (70.9)	0 (.)	6	2	0	4	0

表95-2 愛媛県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症数 (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=1390)	掻爬法(n=254)	吸引法(n=150)	併用法(n=986)	薬物法(n=0)
子宮穿孔					
頸管裂傷					
大量出血					
重症感染症	1	1			
血栓・塞栓症					
アナフィラキシー					
遺残による再手術	3	1		2	
他	2			2	
全合併症	6	2	0	4	0

空欄は報告0件を表す

表95-3 愛媛県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症頻度(施行数10万件当たり) (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=1390)	掻爬法(n=254)	吸引法(n=150)	併用法(n=986)	薬物法(n=0)
子宮穿孔					NA
頸管裂傷					NA
大量出血					NA
重症感染症	71.9	393.7			NA
血栓・塞栓症					NA
アナフィラキシー					NA
遺残による再手術	215.8	393.7		202.8	NA
他	143.9			202.8	NA
全合併症	431.7	787.4	0.0	405.7	NA

空欄は報告0件を表す

表96-1 高知県 基本データ

施設種類	施設数	指定医師数(人)	施行件数と各方法の頻度				合併症件数					
			総数	掻爬法 (%)	吸引法 (%)	併用法 (%)	薬物法 (%)	総数	掻爬法	吸引法	併用法	薬物法
病院	3	6	7	4 (57.1)	0 (.)	3 (42.9)	0 (.)	0	0	0	0	0
診療所	10	10	655	135 (20.6)	57 (8.7)	463 (70.7)	0 (.)	1	0	0	1	0
合計	13	16	662	139 (21.)	57 (8.6)	466 (70.4)	0 (.)	1	0	0	1	0

表96-2 高知県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症数 (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=662)	掻爬法(n=139)	吸引法(n=57)	併用法(n=466)	薬物法(n=0)
子宮穿孔					
頸管裂傷					
大量出血	1			1	
重症感染症					
血栓・塞栓症					
アナフィラキシー					
遺残による再手術					
他					
全合併症	1	0	0	1	0

空欄は報告0件を表す

表96-3 高知県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症頻度(施行数10万件当たり) (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=662)	掻爬法(n=139)	吸引法(n=57)	併用法(n=466)	薬物法(n=0)
子宮穿孔					NA
頸管裂傷					NA
大量出血	151.1			214.6	NA
重症感染症					NA
血栓・塞栓症					NA
アナフィラキシー					NA
遺残による再手術					NA
他					NA
全合併症	151.1	0.0	0.0	214.6	NA

空欄は報告0件を表す

表97-1 福岡県 基本データ

施設種類	施設数	指定医師数(人)	施行件数と各方法の頻度					合併症件数				
			総数	掻爬法(%)	吸引法(%)	併用法(%)	薬物法(%)	総数	掻爬法	吸引法	併用法	薬物法
病院	22	30	247	148 (59.9)	0 (.)	99 (40.1)	0 (.)	1	1	0	0	0
診療所	80	83	5303	872 (16.4)	1131 (21.3)	3300 (62.2)	0 (.)	34	16	0	18	0
合計	102	113	5550	1020 (18.4)	1131 (20.4)	3399 (61.2)	0 (.)	35	17	0	18	0

表97-2 福岡県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症数 (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=5550)	掻爬法(n=1020)	吸引法(n=1131)	併用法(n=3399)	薬物法(n=0)
子宮穿孔					
頸管裂傷					
大量出血	1			1	
重症感染症					
血栓・塞栓症					
アナフィラキシー					
遺残による再手術	34	17		17	
他					
全合併症	35	17	0	18	0

空欄は報告0件を表す

表97-3 福岡県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症頻度(施行数10万件当たり) (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=5550)	掻爬法(n=1020)	吸引法(n=1131)	併用法(n=3399)	薬物法(n=0)
子宮穿孔					NA
頸管裂傷					NA
大量出血	18.0			29.4	NA
重症感染症					NA
血栓・塞栓症					NA
アナフィラキシー					NA
遺残による再手術	612.6	1666.7		500.1	NA
他					NA
全合併症	630.6	1666.7	0.0	529.6	NA

空欄は報告0件を表す

表98-1 佐賀県 基本データ

施設種類	施設数	指定医師数(人)	施行件数と各方法の頻度				合併症件数					
			総数	掻爬法 (%)	吸引法 (%)	併用法 (%)	薬物法 (%)	総数	掻爬法	吸引法	併用法	薬物法
病院	4	4	20	10 (50.)	0 (.)	10 (50.)	0 (.)	0	0	0	0	0
診療所	16	19	1023	106 (10.4)	394 (38.5)	523 (51.1)	0 (.)	4	3	1	0	0
合計	20	23	1043	116 (11.1)	394 (37.8)	533 (51.1)	0 (.)	4	3	1	0	0

表98-2 佐賀県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症数 (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=1043)	掻爬法(n=116)	吸引法(n=394)	併用法(n=533)	薬物法(n=0)
子宮穿孔					
頸管裂傷					
大量出血					
重症感染症					
血栓・塞栓症					
アナフィラキシー					
遺残による再手術	4	3	1		
他					
全合併症	4	3	1	0	0

空欄は報告0件を表す

表98-3 佐賀県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症頻度(施行数10万件当たり) (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=1043)	掻爬法(n=116)	吸引法(n=394)	併用法(n=533)	薬物法(n=0)
子宮穿孔					NA
頸管裂傷					NA
大量出血					NA
重症感染症					NA
血栓・塞栓症					NA
アナフィラキシー					NA
遺残による再手術	383.5	2586.2	253.8		NA
他					NA
全合併症	383.5	2586.2	253.8	0.0	NA

空欄は報告0件を表す

表99-1 長崎県 基本データ

施設種類	施設数	指定医師数(人)	施行件数と各方法の頻度				合併症件数					
			総数	掻爬法 (%)	吸引法 (%)	併用法 (%)	薬物法 (%)	総数	掻爬法	吸引法	併用法	薬物法
病院	7	11	124	77 (62.1)	0 (.)	47 (37.9)	0 (.)	0	0	0	0	0
診療所	36	47	1477	502 (34.)	34 (2.3)	941 (63.7)	0 (.)	4	3	0	1	0
合計	43	58	1601	579 (36.2)	34 (2.1)	988 (61.7)	0 (.)	4	3	0	1	0

表99-2 長崎県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症数 (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=1601)	掻爬法(n=579)	吸引法(n=34)	併用法(n=988)	薬物法(n=0)
子宮穿孔	2	2			
頸管裂傷					
大量出血					
重症感染症					
血栓・塞栓症					
アナフィラキシー					
遺残による再手術	2	1		1	
他					
全合併症	4	3	0	1	0

空欄は報告0件を表す

表99-3 長崎県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症頻度(施行数10万件当たり) (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=1601)	掻爬法(n=579)	吸引法(n=34)	併用法(n=988)	薬物法(n=0)
子宮穿孔	124.9	345.4			NA
頸管裂傷					NA
大量出血					NA
重症感染症					NA
血栓・塞栓症					NA
アナフィラキシー					NA
遺残による再手術	124.9	172.7		101.2	NA
他					NA
全合併症	249.8	518.1	0.0	101.2	NA

空欄は報告0件を表す

表100-1 熊本県 基本データ

施設種類	施設数	指定医師数(人)	施行件数と各方法の頻度				合併症件数					
			総数	掻爬法 (%)	吸引法 (%)	併用法 (%)	薬物法 (%)	総数	掻爬法	吸引法	併用法	薬物法
病院	13	22	563	49 (8.7)	0 (.)	514 (91.3)	0 (.)	0	0	0	0	0
診療所	30	33	1812	174 (9.6)	604 (33.3)	1034 (57.1)	0 (.)	3	2	0	1	0
合計	43	55	2375	223 (9.4)	604 (25.4)	1548 (65.2)	0 (.)	3	2	0	1	0

表100-2 熊本県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症数 (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=2375)	掻爬法(n=223)	吸引法(n=604)	併用法(n=1548)	薬物法(n=0)
子宮穿孔					
頸管裂傷					
大量出血					
重症感染症					
血栓・塞栓症					
アナフィラキシー					
遺残による再手術	2	1		1	
他	1	1			
全合併症	3	2	0	1	0

空欄は報告0件を表す

表100-3 熊本県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症頻度(施行数10万件当たり) (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=2375)	掻爬法(n=223)	吸引法(n=604)	併用法(n=1548)	薬物法(n=0)
子宮穿孔					NA
頸管裂傷					NA
大量出血					NA
重症感染症					NA
血栓・塞栓症					NA
アナフィラキシー					NA
遺残による再手術	84.2	448.4		64.6	NA
他	42.1	448.4			NA
全合併症	126.3	896.9	0.0	64.6	NA

空欄は報告0件を表す



表101-1 大分県 基本データ

施設種類	施設数	指定医師数(人)	施行件数と各方法の頻度				合併症件数					
			総数	掻爬法 (%)	吸引法 (%)	併用法 (%)	薬物法 (%)	総数	掻爬法	吸引法	併用法	薬物法
病院	7	7	61	16 (26.2)	0 (.)	45 (73.8)	0 (.)	0	0	0	0	0
診療所	22	25	1083	130 (12.)	213 (19.7)	740 (68.3)	0 (.)	5	2	0	3	0
合計	29	32	1144	146 (12.8)	213 (18.6)	785 (68.6)	0 (.)	5	2	0	3	0

表101-2 大分県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症数 (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=1144)	掻爬法(n=146)	吸引法(n=213)	併用法(n=785)	薬物法(n=0)
子宮穿孔	1	1			
頸管裂傷					
大量出血					
重症感染症					
血栓・塞栓症					
アナフィラキシー					
遺残による再手術	4	1		3	
他					
全合併症	5	2	0	3	0

空欄は報告0件を表す

表101-3 大分県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症頻度(施行数10万件当たり) (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=1144)	掻爬法(n=146)	吸引法(n=213)	併用法(n=785)	薬物法(n=0)
子宮穿孔	87.4	684.9			NA
頸管裂傷					NA
大量出血					NA
重症感染症					NA
血栓・塞栓症					NA
アナフィラキシー					NA
遺残による再手術	349.7	684.9		382.2	NA
他					NA
全合併症	437.1	1369.9	0.0	382.2	NA

空欄は報告0件を表す

表102-1 宮崎県 基本データ

施設種類	施設数	指定医師数(人)	施行件数と各方法の頻度				合併症件数					
			総数	掻爬法 (%)	吸引法 (%)	併用法 (%)	薬物法 (%)	総数	掻爬法	吸引法	併用法	薬物法
病院	12	17	243	62 (25.5)	115 (47.3)	66 (27.2)	0 (.)	0	0	0	0	0
診療所	13	15	518	76 (14.7)	0 (.)	442 (85.3)	0 (.)	0	0	0	0	0
合計	25	32	761	138 (18.1)	115 (15.1)	508 (66.8)	0 (.)	0	0	0	0	0

表102-2 宮崎県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症数 (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=761)	掻爬法(n=138)	吸引法(n=115)	併用法(n=508)	薬物法(n=0)
子宮穿孔					
頸管裂傷					
大量出血					
重症感染症					
血栓・塞栓症					
アナフィラキシー					
遺残による再手術					
他					
全合併症	0	0	0	0	0

空欄は報告0件を表す

表102-3 宮崎県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症頻度(施行数10万件当たり) (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=761)	掻爬法(n=138)	吸引法(n=115)	併用法(n=508)	薬物法(n=0)
子宮穿孔					NA
頸管裂傷					NA
大量出血					NA
重症感染症					NA
血栓・塞栓症					NA
アナフィラキシー					NA
遺残による再手術					NA
他					NA
全合併症	0.0	0.0	0.0	0.0	NA

空欄は報告0件を表す

表103-1 鹿児島県 基本データ

施設種類	施設数	指定医師数(人)	施行件数と各方法の頻度					合併症件数				
			総数	掻爬法 (%)	吸引法 (%)	併用法 (%)	薬物法 (%)	総数	掻爬法	吸引法	併用法	薬物法
病院	7	19	283	57 (20.1)	0 (.)	226 (79.9)	0 (.)	2	1	0	1	0
診療所	20	28	1183	607 (51.3)	135 (11.4)	441 (37.3)	0 (.)	1	0	0	1	0
合計	27	47	1466	664 (45.3)	135 (9.2)	667 (45.5)	0 (.)	3	1	0	2	0

表103-2 鹿児島県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症数 (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=1466)	掻爬法(n=664)	吸引法(n=135)	併用法(n=667)	薬物法(n=0)
子宮穿孔	1			1	
頸管裂傷					
大量出血					
重症感染症					
血栓・塞栓症					
アナフィラキシー					
遺残による再手術	1			1	
他	1	1			
全合併症	3	1	0	2	0

空欄は報告0件を表す

表103-3 鹿児島県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症頻度(施行数10万件当たり) (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=1466)	掻爬法(n=664)	吸引法(n=135)	併用法(n=667)	薬物法(n=0)
子宮穿孔	68.2			149.9	NA
頸管裂傷					NA
大量出血					NA
重症感染症					NA
血栓・塞栓症					NA
アナフィラキシー					NA
遺残による再手術	68.2			149.9	NA
他	68.2	150.6			NA
全合併症	204.6	150.6	0.0	299.9	NA

空欄は報告0件を表す

表104-1 沖縄県 基本データ

施設種類	施設数	指定医師数(人)	施行件数と各方法の頻度				合併症件数					
			総数	掻爬法 (%)	吸引法 (%)	併用法 (%)	薬物法 (%)	総数	掻爬法	吸引法	併用法	薬物法
病院	12	33	64	50 (78.1)	2 (3.1)	12 (18.8)	0 (.)	0	0	0	0	0
診療所	16	18	1082	95 (8.8)	68 (6.3)	902 (83.4)	17 (1.6)	1	0	0	1	0
合計	28	51	1146	145 (12.7)	70 (6.1)	914 (79.8)	17 (1.5)	1	0	0	1	0

表104-2 沖縄県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症数 (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=1146)	掻爬法(n=145)	吸引法(n=70)	併用法(n=914)	薬物法(n=17)
子宮穿孔					
頸管裂傷					
大量出血					
重症感染症					
血栓・塞栓症					
アナフィラキシー					
遺残による再手術	1			1	
他					
全合併症	1	0	0	1	0

空欄は報告0件を表す

表104-3 沖縄県 妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の合併症頻度(施行数10万件当たり) (病院・診療所合計)

合併症	施行総数(n=1146)	掻爬法(n=145)	吸引法(n=70)	併用法(n=914)	薬物法(n=17)
子宮穿孔					
頸管裂傷					
大量出血					
重症感染症					
血栓・塞栓症					
アナフィラキシー					
遺残による再手術	87.3			109.4	
他					
全合併症	87.3	0.0	0.0	109.4	0.0

空欄は報告0件を表す

表105-2 47都道府県データ一覧(合併症の件数と頻度)

都道府県	合併症件数					合併症頻度(施行10万件当たり)				
	総数	搔爬法	吸引法	併用法	薬物法	総数	搔爬法	吸引法	併用法	薬物法
北海道	7	4	2	1		184.2	259.7	169.3	92.7	
青森県	10	5		5		754.1	664.9		1582.3	
岩手県	11	11				757.6	3133.9			
宮城県	4	3	1			167.0	320.9	354.6		
秋田県	4	2		2		406.5	483.1		555.6	
山形県										
福島県	2	1		1		95.0	286.5		102.9	
茨城県	9	7		2		384.5	903.2		185.0	
栃木県	20	12	1	7		857.6	1500.0	1176.5	483.8	
群馬県										
埼玉県	23	13		10		530.2	791.2		480.5	
千葉県	7	5	1	1		225.1	529.7	176.4	62.5	
東京都	31	11	6	14		392.5	453.4	431.0	344.2	
神奈川県	26	18		6	2	377.2	715.7		217.1	66666.7
山梨県	1	1				662.3	14285.7			
長野県	13	10	2	1		692.6	965.3	579.7	218.3	
静岡県	12	7		5		311.4	436.7		261.6	
新潟県	2	2				110.9	156.0			
富山県	2	2				311.0	900.9			
石川県										
福井県	6	5	1			1452.8	4545.5	421.9		
岐阜県	1			1		79.5			273.2	
愛知県	39	21	5	13		655.2	1114.6	496.0	428.8	
三重県	2	1		1		135.7	450.5		113.1	
滋賀県	2	1	1			184.2	444.4	304.0		
京都府	2	1		1		123.5	196.1		180.5	
大阪府	17	5	2	10		202.3	237.8	69.3	292.8	
兵庫県	6	2		4		186.6	237.5		205.1	
奈良県	1	1				234.2	436.7			
和歌山県	1	1				105.0	241.0			
鳥取県	6	2		4		1379.3	784.3		3333.3	
島根県										
岡山県	3	2		1		162.0	250.3		110.4	
広島県	12	6		6		522.4	557.6		766.3	
山口県	12	2		10		797.3	896.9		2222.2	
徳島県	1			1		161.0			357.1	
香川県	1			1		100.3			1515.2	
愛媛県	6	2		4		431.7	787.4		405.7	
高知県	1			1		151.1			214.6	
福岡県	35	17		18		630.6	1666.7		529.6	
佐賀県	4	3	1			383.5	2586.2	253.8		
長崎県	4	3		1		249.8	518.1		101.2	
熊本県	3	2		1		126.3	896.9		64.6	
大分県	5	2		3		437.1	1369.9		382.2	
宮崎県										
鹿児島県	3	1		2		204.6	150.6		299.9	
沖縄県	1			1		87.3			109.4	
合計	358	194	23	139	2	355.0	588.6	112.4	294.8	696.9

表58 47都道府県データ一覧(回答施設・母体保護法指定医師数・中絶術件数と各方法の頻度)

都道府県	回答施設の内訳		回答施設の内訳		回答施設における 指定医師数(人)	総数	人工妊娠中絶術件数と各方法の頻度			
	施設数	病院	診療所	病院の割合(%)			掻爬法(%)	吸引法(%)	併用法(%)	薬物法(%)
北海道	69	33	36	47.8	118	3800	1540 (40.5)	1181 (31.1)	1079 (28.4)	
青森県	31	9	22	29.0	39	1326	752 (56.7)	258 (19.5)	316 (23.8)	
岩手県	30	6	24	20.0	33	1452	351 (24.2)	44 (3.0)	1056 (72.7)	1 (.1)
宮城県	50	12	38	24.0	73	2395	935 (39.0)	282 (11.8)	1154 (48.2)	24 (1.0)
秋田県	32	11	21	34.4	39	984	414 (42.1)	210 (21.3)	360 (36.6)	
山形県	31	11	20	35.5	43	1107	475 (42.9)	193 (17.4)	438 (39.6)	1 (.1)
福島県	41	9	32	22.0	53	2105	349 (16.6)	784 (37.2)	972 (46.2)	
茨城県	41	14	27	34.1	54	2341	775 (33.1)	485 (20.7)	1081 (46.2)	
栃木県	47	7	40	14.9	64	2332	800 (34.3)	85 (3.6)	1447 (62.1)	
群馬県	36	11	25	30.6	55	1210	792 (65.5)	69 (5.7)	349 (28.8)	
埼玉県	87	24	63	27.6	113	4338	1643 (37.9)	524 (12.1)	2081 (48.0)	90 (2.1)
千葉県	63	19	44	30.2	94	3110	944 (30.4)	567 (18.2)	1599 (51.4)	
東京都	252	63	189	25.0	344	7899	2426 (30.7)	1392 (17.6)	4067 (51.5)	14 (.2)
神奈川県	152	41	111	27.0	197	6893	2515 (36.5)	1611 (23.4)	2764 (40.1)	3 (.0)
山梨県	15	3	12	20.0	23	151	7 (4.6)		144 (95.4)	
長野県	52	24	28	46.2	59	1877	1036 (55.2)	345 (18.4)	458 (24.4)	38 (2.0)
静岡県	86	20	66	23.3	96	3853	1603 (41.6)	339 (8.8)	1911 (49.6)	
新潟県	48	20	28	41.7	65	1803	1282 (71.1)	196 (10.9)	325 (18.0)	
富山県	20	8	12	40.0	30	643	222 (34.5)	212 (33.0)	209 (32.5)	
石川県	29	14	15	48.3	48	948	569 (60.0)	93 (9.8)	286 (30.2)	
福井県	17	6	11	35.3	24	413	110 (26.6)	237 (57.4)	66 (16.0)	
岐阜県	37	14	23	37.8	65	1258	499 (39.7)	393 (31.2)	366 (29.1)	
愛知県	152	41	111	27.0	305	5952	1884 (31.7)	1008 (16.9)	3032 (50.9)	28 (.5)
三重県	39	15	24	38.5	80	1474	222 (15.1)	362 (24.6)	884 (60.0)	6 (.4)
滋賀県	28	6	22	21.4	41	1086	225 (20.7)	329 (30.3)	532 (49.0)	
京都府	53	22	31	41.5	88	1619	510 (31.5)	555 (34.3)	554 (34.2)	
大阪府	175	57	118	32.6	356	8405	2103 (25.0)	2887 (34.3)	3415 (40.6)	
兵庫県	105	31	74	29.5	185	3216	842 (26.2)	424 (13.2)	1950 (60.6)	
奈良県	25	9	16	36.0	50	427	229 (53.6)		198 (46.4)	
和歌山県	27	5	22	18.5	45	952	415 (43.6)	204 (21.4)	333 (35.0)	
鳥取県	8	3	5	37.5	14	435	255 (58.6)	60 (13.8)	120 (27.6)	
島根県	20	9	11	45.0	24	637	184 (28.9)	130 (20.4)	323 (50.7)	
岡山県	34	13	21	38.2	47	1852	799 (43.1)	89 (4.8)	906 (48.9)	58 (3.1)
広島県	59	17	42	28.8	89	2297	1076 (46.8)	438 (19.1)	783 (34.1)	
山口県	39	15	24	38.5	58	1505	223 (14.8)	832 (55.3)	450 (29.9)	
徳島県	22	8	14	36.4	38	621	156 (25.1)	185 (29.8)	280 (45.1)	
香川県	19	10	9	52.6	34	997	372 (37.3)	552 (55.4)	66 (6.6)	7 (.7)
愛媛県	33	11	22	33.3	43	1390	254 (18.3)	150 (10.8)	986 (70.9)	
高知県	13	3	10	23.1	16	662	139 (21.0)	57 (8.6)	466 (70.4)	
福岡県	102	22	80	21.6	113	5550	1020 (18.4)	1131 (20.4)	3399 (61.2)	
佐賀県	20	4	16	20.0	23	1043	116 (11.1)	394 (37.8)	533 (51.1)	
長崎県	43	7	36	16.3	58	1601	579 (36.2)	34 (2.1)	988 (61.7)	
熊本県	43	13	30	30.2	55	2375	223 (9.4)	604 (25.4)	1548 (65.2)	
大分県	29	7	22	24.1	32	1144	146 (12.8)	213 (18.6)	785 (68.6)	
宮崎県	25	12	13	48.0	32	761	138 (18.1)	115 (15.1)	508 (66.8)	
鹿児島県	27	7	20	25.9	47	1466	664 (45.3)	135 (9.2)	667 (45.5)	
沖縄県	28	12	16	42.9	51	1146	145 (12.7)	70 (6.1)	914 (79.8)	17 (1.5)
合計	2434	738	1696	30.3	3653	100851	32958 (32.7)	20458 (20.3)	47148 (46.8)	287 (.3)

空欄は報告0件を表す

表59 各都道府県の妊娠12週未満の人工妊娠中絶術の各方法の施行頻度(頻度の高い順)

掻爬法		吸引法		併用法		薬物法	
都道府県	件数 (%)	都道府県	件数 (%)	都道府県	件数 (%)	都道府県	件数 (%)
新潟県	1282 (71.1)	福井県	237 (57.4)	山梨県	144 (95.4)	岡山県	58 (3.1)
群馬県	792 (65.5)	香川県	552 (55.4)	沖縄県	914 (79.8)	埼玉県	90 (2.1)
石川県	569 (60.)	山口県	832 (55.3)	岩手県	1056 (72.7)	長野県	38 (2.)
鳥取県	255 (58.6)	佐賀県	394 (37.8)	愛媛県	986 (70.9)	沖縄県	17 (1.5)
青森県	752 (56.7)	福島県	784 (37.2)	高知県	466 (70.4)	宮城県	24 (1.)
長野県	1036 (55.2)	大阪府	2887 (34.3)	大分県	785 (68.6)	香川県	7 (7.)
奈良県	229 (53.6)	京都府	555 (34.3)	宮崎県	508 (66.8)	愛知県	28 (5.)
広島県	1076 (46.8)	富山県	212 (33.)	熊本県	1548 (65.2)	三重県	6 (4.)
鹿児島県	664 (45.3)	岐阜県	393 (31.2)	栃木県	1447 (62.)	東京都	14 (2.)
和歌山県	415 (43.6)	北海道	1181 (31.1)	長崎県	988 (61.7)	山形県	1 (1.)
岡山県	799 (43.1)	滋賀県	329 (30.3)	福岡県	3399 (61.2)	岩手県	1 (1.)
山形県	475 (42.9)	徳島県	185 (29.8)	兵庫県	1950 (60.6)	神奈川県	3 (.)
秋田県	414 (42.1)	熊本県	604 (25.4)	三重県	884 (60.)	青森県	0 (.)
静岡県	1603 (41.6)	三重県	362 (24.6)	東京都	4067 (51.5)	秋田県	0 (.)
北海道	1540 (40.5)	神奈川県	1611 (23.4)	千葉県	1599 (51.4)	石川県	0 (.)
岐阜県	499 (39.7)	和歌山県	204 (21.4)	佐賀県	533 (51.1)	茨城県	0 (.)
宮城県	935 (39.)	秋田県	210 (21.3)	愛知県	3032 (50.9)	愛媛県	0 (.)
埼玉県	1643 (37.9)	茨城県	485 (20.7)	島根県	323 (50.7)	大分県	0 (.)
香川県	372 (37.3)	島根県	130 (20.4)	静岡県	1911 (49.6)	大阪府	0 (.)
神奈川県	2515 (36.5)	福岡県	1131 (20.4)	滋賀県	532 (49.)	鹿児島県	0 (.)
新潟県	579 (36.2)	青森県	258 (19.5)	岡山県	906 (48.9)	岐阜県	0 (.)
富山県	222 (34.5)	広島県	438 (19.1)	宮城県	1154 (48.2)	京都府	0 (.)
栃木県	800 (34.3)	大分県	213 (18.6)	埼玉県	2081 (48.)	熊本県	0 (.)
茨城県	775 (33.1)	長野県	345 (18.4)	奈良県	198 (46.4)	群馬県	0 (.)
愛知県	1884 (31.7)	千葉県	567 (18.2)	茨城県	1081 (46.2)	高知県	0 (.)
京都府	510 (31.5)	東京都	1392 (17.6)	福島県	972 (46.2)	佐賀県	0 (.)
東京都	2426 (30.7)	山形県	193 (17.4)	鹿児島県	667 (45.5)	滋賀県	0 (.)
千葉県	944 (30.4)	愛知県	1008 (16.9)	徳島県	280 (45.1)	静岡県	0 (.)
島根県	184 (28.9)	宮崎県	115 (15.1)	大阪府	3415 (40.6)	島根県	0 (.)
福井県	110 (26.6)	鳥取県	60 (13.8)	神奈川県	2764 (40.1)	千葉県	0 (.)
兵庫県	842 (26.2)	兵庫県	424 (13.2)	山形県	438 (39.6)	徳島県	0 (.)
徳島県	156 (25.1)	埼玉県	524 (12.1)	秋田県	360 (36.6)	栃木県	0 (.)
大阪府	2103 (25.)	宮城県	282 (11.8)	和歌山県	333 (35.)	鳥取県	0 (.)
岩手県	351 (24.2)	新潟県	196 (10.9)	京都府	554 (34.2)	富山県	0 (.)
高知県	139 (21.)	愛媛県	150 (10.8)	広島県	783 (34.1)	長崎県	0 (.)
滋賀県	225 (20.7)	石川県	93 (9.8)	富山県	209 (32.5)	奈良県	0 (.)
福岡県	1020 (18.4)	鹿児島県	135 (9.2)	石川県	286 (30.2)	新潟県	0 (.)
愛媛県	254 (18.3)	静岡県	339 (8.8)	山口県	450 (29.9)	兵庫県	0 (.)
宮崎県	138 (18.1)	高知県	57 (8.6)	岐阜県	366 (29.1)	広島県	0 (.)
福島県	349 (16.6)	沖縄県	70 (6.1)	群馬県	349 (28.8)	福井県	0 (.)
三重県	222 (15.1)	群馬県	69 (5.7)	北海道	1079 (28.4)	福岡県	0 (.)
山口県	223 (14.8)	岡山県	89 (4.8)	鳥取県	120 (27.6)	福島県	0 (.)
大分県	146 (12.8)	栃木県	85 (3.6)	長野県	458 (24.4)	北海道	0 (.)
沖縄県	145 (12.7)	岩手県	44 (3.)	青森県	316 (23.8)	宮崎県	0 (.)
佐賀県	116 (11.1)	長崎県	34 (2.1)	新潟県	325 (18.)	山口県	0 (.)
熊本県	223 (9.4)	奈良県	0 (.)	福井県	66 (16.)	山梨県	0 (.)
山梨県	7 (4.6)	山梨県	0 (.)	香川県	66 (6.6)	和歌山県	0 (.)
合計	32958 (32.7)	合計	20458 (20.3)	合計	47148 (46.8)	合計	287 (.3)

表60 各都道府県の合併症頻度(人工妊娠中絶術10万件当たり合併症件数)(発生頻度の多い順)

全方法		搔爬法		吸引法		併用法		薬物法	
都道府県	頻度	都道府県	頻度	都道府県	頻度	都道府県	頻度	都道府県	頻度
福井県	1452.8	山梨県	14285.7	栃木県	1176.5	鳥取県	3333.3	神奈川県	6666.7
鳥取県	1379.3	福井県	4545.5	長野県	579.7	山口県	2222.2	北海道	0.0
栃木県	857.6	岩手県	3133.9	愛知県	496.0	青森県	1582.3	青森県	0.0
山口県	797.3	佐賀県	2586.2	東京都	431.0	香川県	1515.2	岩手県	0.0
岩手県	757.6	福岡県	1666.7	福井県	421.9	広島県	766.3	宮城県	0.0
青森県	754.1	栃木県	1500.0	宮城県	354.6	秋田県	555.6	秋田県	0.0
長野県	692.6	大分県	1369.9	滋賀県	304.0	福岡県	529.6	山形県	0.0
山梨県	662.3	愛知県	1114.6	佐賀県	253.8	栃木県	483.8	福島県	0.0
愛知県	655.2	長野県	965.3	千葉県	176.4	埼玉県	480.5	茨城県	0.0
福岡県	630.6	茨城県	903.2	北海道	169.3	愛知県	428.8	栃木県	0.0
埼玉県	530.2	富山県	900.9	大阪府	69.3	愛媛県	405.7	群馬県	0.0
広島県	522.4	山口県	896.9	青森県	0.0	大分県	382.2	埼玉県	0.0
大分県	437.1	熊本県	896.9	秋田県	0.0	徳島県	357.1	千葉県	0.0
愛媛県	431.7	埼玉県	791.2	岩手県	0.0	東京都	344.2	東京都	0.0
秋田県	406.5	愛媛県	787.4	石川県	0.0	鹿児島県	299.9	山梨県	0.0
東京都	392.5	鳥取県	784.3	茨城県	0.0	大阪府	292.8	長野県	0.0
茨城県	384.5	神奈川県	715.7	愛媛県	0.0	岐阜県	273.2	静岡県	0.0
佐賀県	383.5	青森県	664.9	大分県	0.0	静岡県	261.6	新潟県	0.0
神奈川県	377.2	広島県	557.6	岡山県	0.0	長野県	218.3	富山県	0.0
静岡県	311.4	千葉県	529.7	沖縄県	0.0	神奈川県	217.1	石川県	0.0
富山県	311.0	秋田県	518.1	香川県	0.0	高知県	214.6	福井県	0.0
長崎県	249.8	秋田県	483.1	香川県	0.0	兵庫県	205.1	岐阜県	0.0
奈良県	234.2	東京都	453.4	鹿児島県	0.0	茨城県	185.0	愛知県	0.0
千葉県	225.1	三重県	450.5	岐阜県	0.0	京都府	180.5	三重県	0.0
鹿児島県	204.6	滋賀県	444.4	京都府	0.0	三重県	113.1	滋賀県	0.0
大阪府	202.3	静岡県	436.7	群馬県	0.0	岡山県	110.4	京都府	0.0
兵庫県	186.6	奈良県	436.7	熊本県	0.0	沖縄県	109.4	大阪府	0.0
北海道	184.2	宮城県	320.9	高知県	0.0	福島県	102.9	兵庫県	0.0
滋賀県	184.2	福島県	286.5	埼玉県	0.0	長崎県	101.2	奈良県	0.0
宮城県	167.0	北海道	259.7	静岡県	0.0	北海道	92.7	和歌山県	0.0
岡山県	162.0	岡山県	250.3	島根県	0.0	熊本県	64.6	鳥取県	0.0
徳島県	161.0	和歌山県	241.0	徳島県	0.0	千葉県	62.5	島根県	0.0
高知県	151.1	大阪府	237.8	鳥取県	0.0	石川県	0.0	岡山県	0.0
三重県	135.7	兵庫県	237.5	富山県	0.0	岩手県	0.0	広島県	0.0
熊本県	126.3	京都府	196.1	奈良県	0.0	群馬県	0.0	山口県	0.0
京都府	123.5	新潟県	156.0	長崎県	0.0	佐賀県	0.0	徳島県	0.0
新潟県	110.9	鹿児島県	150.6	新潟県	0.0	滋賀県	0.0	香川県	0.0
和歌山県	105.0	石川県	0.0	兵庫県	0.0	島根県	0.0	愛媛県	0.0
香川県	100.3	沖縄県	0.0	広島県	0.0	富山県	0.0	高知県	0.0
福島県	95.0	香川県	0.0	福岡県	0.0	奈良県	0.0	福岡県	0.0
沖縄県	87.3	岐阜県	0.0	福島県	0.0	新潟県	0.0	佐賀県	0.0
岐阜県	79.5	群馬県	0.0	三重県	0.0	福井県	0.0	宮城県	0.0
石川県	0.0	高知県	0.0	宮崎県	0.0	宮城県	0.0	熊本県	0.0
群馬県	0.0	島根県	0.0	山形県	0.0	宮崎県	0.0	大分県	0.0
島根県	0.0	徳島県	0.0	山口県	0.0	山形県	0.0	宮崎県	0.0
宮崎県	0.0	宮崎県	0.0	山梨県	0.0	山梨県	0.0	鹿児島県	0.0
山形県	0.0	山形県	0.0	和歌山県	0.0	和歌山県	0.0	沖縄県	0.0
合計	355.0	合計	588.6	合計	112.4	合計	294.8	合計	696.9



## 人工妊娠中絶の地域格差に関する研究：3年間のまとめ

研究分担者 岡村州博 東北公済病院 院長

研究共同者 杉山 隆 東北大学病院周産母子センター

### 研究要旨

わが国における人工妊娠中絶には、地域格差があることが知られている。そこで実態調査を行うとともに、都道府県別人工妊娠中絶率と関連すると考えられる諸因子との関連を検討した。その結果、地域格差の原因として、地域ゆえの社会的背景（高校就職率、大学進学率、未婚率や経済的問題、産婦人科医師数）が関係する可能性が示唆された。さらに中絶率と経口避妊薬の売上錠数が負の相関を有することが明らかとなり、避妊法に関する啓発が重要であることが示唆された。

また 10 歳代の人工妊娠中絶率が漸増傾向にあり、「性に関する指導」が重要な鍵を握る可能性を考え、全国の高等学校にアンケート調査を行った。その結果、公立・私立間や地域差は認められなかった。今後の方向性として、周産期医療の現場の声を反映した医療者による工夫ある「性に関する指導」が必要である可能性が示唆された。

### A. 研究目的

わが国における人工妊娠中絶には、地域格差があることが知られている。そこでその実態調査を行うとともに、都道府県別人工妊娠中絶率（以下中絶率と略）と関連すると考えられる諸因子との関連を検討し、今後の医療的、行政的対応に資する目的で調査研究を行った。

### B. 研究方法

#### (1) 都道府県別人工妊娠中絶率

厚生労働省衛生行政報告を用いて各都道府県あるいは各地方別の中絶率の推移を検討した。また各都道府県別中絶率と関連すると予想される因子との関連を検討し、原因解析を行った。

#### (2) 都道府県別の経口避妊薬売上数

また各都道府県別中絶率と関連すると予想される因子として経口避妊薬の都道府県別売上錠数の関連を検討した。経口避妊薬の売上錠数については、売上シート数として解析に用い、アイ・エム・エス・ジャパン株式会社より売上シート数に関する情報を収集した。避妊薬として、現在わが国において販売されている 15 種類の製剤（一相性および三相性）を用いた。

#### (3) 全国の高等学校への「性に関する指導」に関するアンケート調査

平成 24 年から 25 年度の調査より、20 歳代以上の女性の人工妊娠中絶率低下には、経口避妊薬の普及に関する啓蒙と産婦人科医に対する経口避妊薬の積極的な処方 の考慮が必要であることが示唆された。そこで、平成 26 年度は人工妊娠中絶数が軽度ではあるものの増加傾向にある 10 歳代女性への対策を講じるために高校生に対する「性に関する指導」の実態調査を調査した。

公立高等学校には、教育委員会の承諾を得た 15 都道府県（32%）の全学校にアンケート調査を送付した。私立高等学校には全国の全校に送付した。その結果、公立、私立高校の 1,053 校、1,346 校に送付し、それぞれ 656 校（62.3%）、602 校（44.7%）の計 1,258 校より調査結果を得ることができた。アンケート調査内容は下表に示すとおりである。

1. 貴高等学校では、「性に関する指導」を行っていますか？
2. 何年生を対象にしていますか？（いくつでも）
3. 誰が「性に関する指導」を行っていますか？（いくつでも）
4. 質問 3 で「医師」を選ばれた場合、医師の専門家を教えてください。（いくつでも）
5. 教材は何を用いますか？（いくつでも）
6. 避妊の方法を指導していますか？
7. 質問 6 で「はい」の場合、具体的にはどのような方法を指導していますか？（いくつでも）
8. 緊急避妊ピルに関する情報を話されていますか？
9. 10 歳代の避妊の人工中絶が増加していることを生徒に知らせていますか？
10. 人工妊娠中絶による健康被害に関する指導を行っていますか？
11. 性感染症に関する指導を行っていますか？

（倫理面への配慮）

本研究は、衛生行政報告や情報サービスセンターの既報データおよび全国の高等学校への学校アンケート調査を基に解析を行ったので、個人情報を含めた倫理上の問題は発生しなかった。中絶率の定義は 15～49 歳の女子人口千対の割合である。

C. 研究結果

1. 都道府県別の人工妊娠中絶率の推移（表 1）

2004 年、2007 年、2011 年の中絶率を示すが、各都道府県における推移はほぼ同様であり、7 年前に比し 30%の減少が認められた。奈良県、山梨県、千葉県、茨城県、神奈川県で低く、鳥取県、熊本県、福岡県、鹿児島県、佐賀県で高かった。表 1 では、中絶率の低いあるいは高い都道府県 5 つをそれぞれ青色、赤色で示した。九州において中絶率が高いことがわかる。

東北地方(北海道含む)													関東地方									
全体	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟							
2004	11.2	15.3	11.3	16.4	14.4	14.6	13.3	16.2	8.1	12.6	11.7	9.6	7	9.8	8.4	11.7						
2007	9.9	12.4	10.5	13.5	11.9	12.2	11	14.2	7.9	10.9	10.9	8.4	6.69	9.4	7.7	10.2						
2011	7.9	9.3	8.8	9.8	9.6	9.2	8.3	10.6	5.8	8.3	8	6.3	5.3	8.5	5.9	8						

中部地方					近畿地方										
富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	
2004	11	11.4	10.5	7.5	14.5	10.7	9.9	9.8	12.7	10.4	10.2	10	9.1	6.2	11.4
2007	10.3	9.6	9.6	7	12.3	9.1	9.1	8.6	10.9	8.6	8.8	9.6	8	5.9	9.9
2011	7.5	7	7.7	5.2	8.2	7	7.9	6.5	9.2	6.8	7.2	8.1	6	4.9	7.6

中国地方			四国地方					九州地方(沖縄含む)									
鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	
2004	19.3	11	15.1	12.7	12	11.5	13.8	12.8	16.7	15.9	17.1	15.9	15	16.5	9.1	13.7	9.8
2007	14.9	9.1	12.5	11.4	10.3	10.6	11.8	11.8	13.5	13.5	14.7	13	14.9	12.9	12.3	12.4	9.6
2011	11.6	7.8	9.3	9.3	8.1	7.8	9.1	9	10.6	11.1	11	10.1	11.6	9.8	9.8	11.1	8.2

表 1. 都道府県別の人工妊娠中絶率の推移

2. 地方別中絶数および中絶率の推移

図 1 に地方別の中絶数の推移を示す。各地方において中絶数は減少している。50 年間で約 5 分の 1 に減少している。

次に図 2 に地方別の中絶率の 2004～2011 年の推移を示す。各地方において同様の減少を呈している。全国平均は 2011 年で約 8%である。また関東・中部・近畿地方における中絶率は全国平均よりも低く北海道・東北・中国・四国・九州地方において高い。すなわち、中絶率の二極化が認められた。

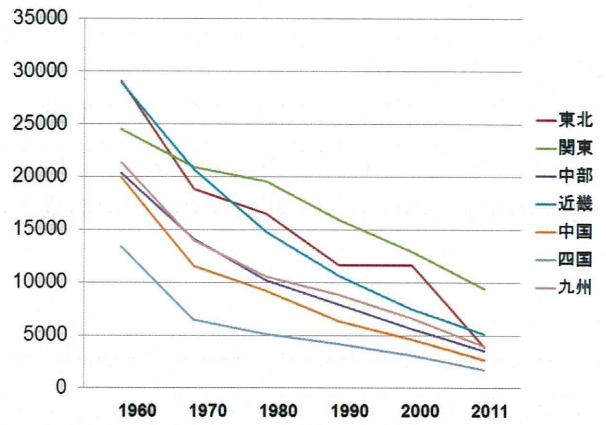


図 1. 地方別の人工妊娠中絶率の推移

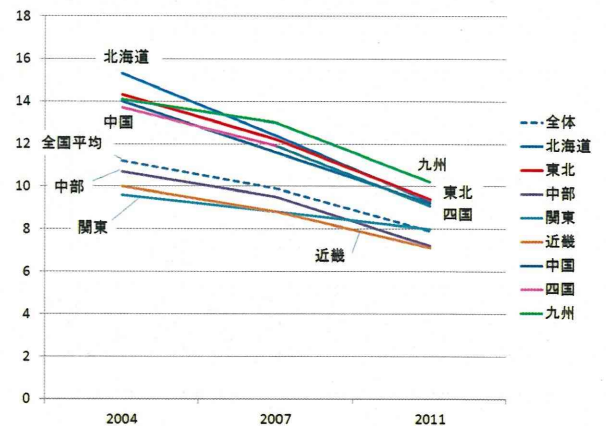


図 2. 地方別の人工妊娠中絶率の推移

また、東日本、西日本別に比較検討した結果、西日本で高いことが判明した。

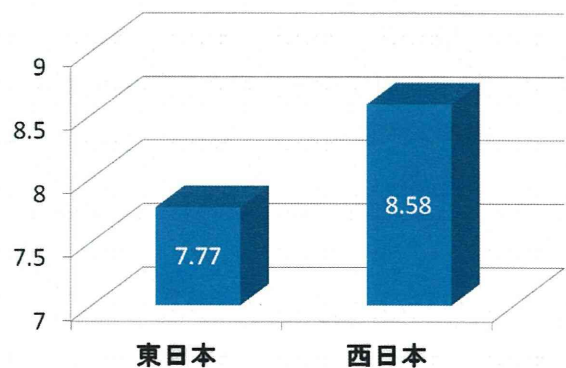


図 3. 東・西日本別の人工妊娠中絶率

小括[1]を以下に示す。

- (1) わが国の人工妊娠中絶率は 50 年前の約 20% に減少した。
- (2) 2004 年から 2011 年の 7 年間で 30%減少した。

(3)各都道府県における人工妊娠中絶率の減少程度は同様であった。

(4) 地方別にみると、関東・中部・近畿地方は全国平均より低く、東北・中四国・九州地方では高く、二極化現象が認められた。東低西高の傾向が認められた。

### 3. 人工妊娠中絶率と産婦人科医数との関連

産婦人科医数は2006年の15～49歳女子人口10万対産婦人科・産科従事医師数を用いた。その結果、中絶率と産婦人科医師数との間に正の相関を認めた。

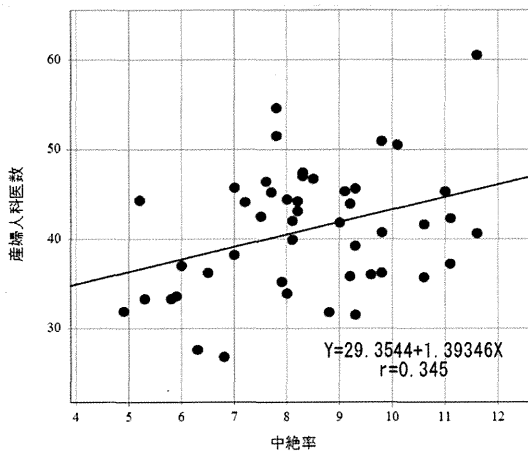


図4. 人工妊娠中絶率と産婦人科医数の関連

### 4. 人工妊娠中絶率と周産期死亡率の関係

次に中絶率と周産期死亡率との関係を検討した結果、両者間に相関を認めないことが判明した。

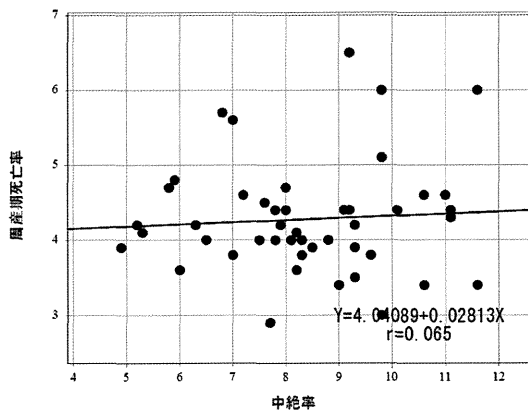


図5. 人工妊娠中絶率と周産期死亡率の関連

### 5. 人工妊娠中絶率と県民所得との関係

両者間は負の相関を有することが明らかとなった。

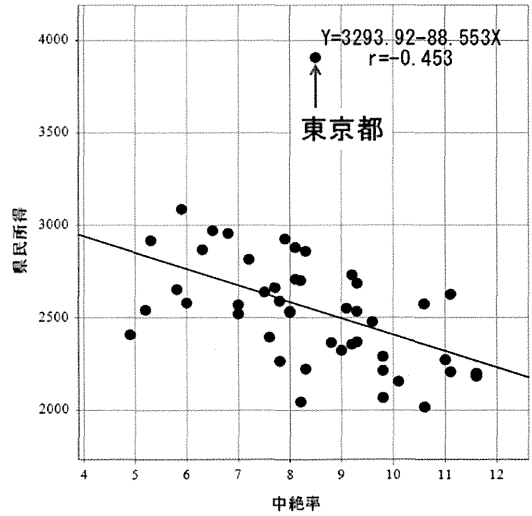


図6. 人工妊娠中絶率と県民所得との関連

### 6. 人工妊娠中絶率と20歳代女性・男性未婚率の関係

図7および図8に示すとおり、20歳代女性・男性の未婚率と中絶率の間にはそれぞれ負の相関を認めた。

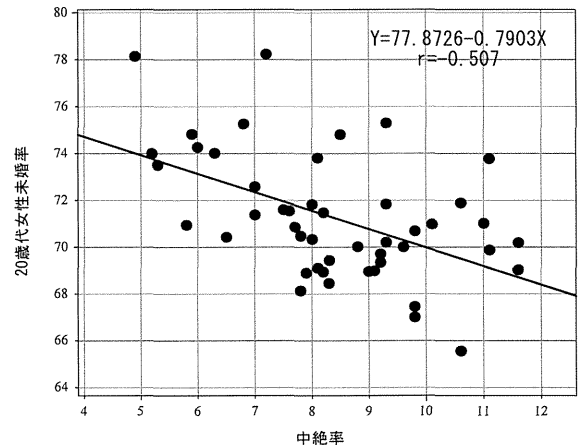


図7. 人工妊娠中絶率と20歳代女性未婚率の関連

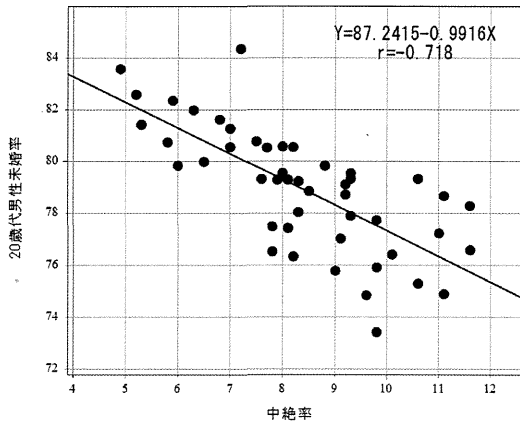


図 8. 人工妊娠中絶率と 20 歳代男性未婚率の関連

7. 人工妊娠中絶率と高校就職率との関係

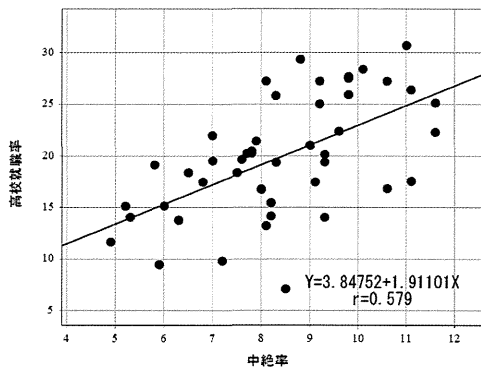


図 9. 人工妊娠中絶率と高校就職率の関係

次に高校就職率と中絶率間の関係を検討した結果、両者間に正の相関を認めた。

8. 人工妊娠中絶率と大学進学率の関連

大学進学率と中絶率間に負の相関を認めた。

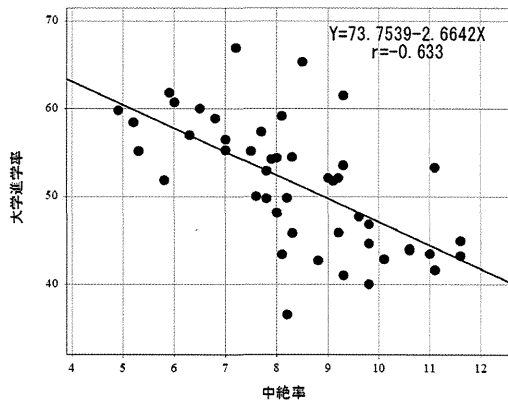


図 10. 人工妊娠中絶率と大学進学率の関連

9. 人工妊娠中絶率とデキ婚率との関係

デキ婚率との間に正の相関を認めた。

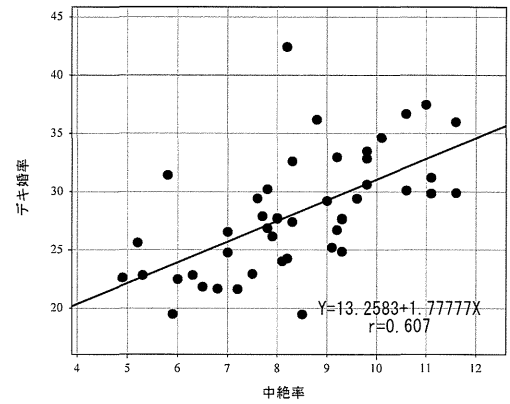


図 11. 人工妊娠中絶率とデキ婚率の関連

10. 人工妊娠中絶率と出産年齢の関係

両者間に負の相関を認めた。

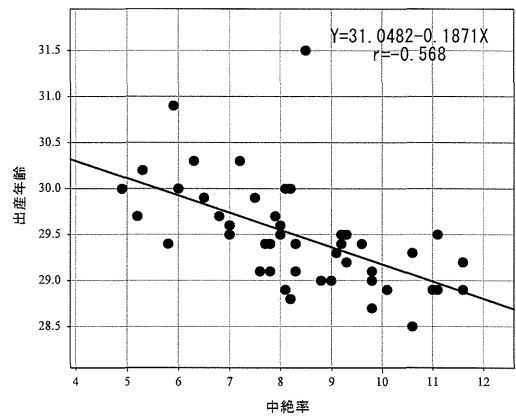


図 12. 人工妊娠中絶率と出産年齢の関係

11. 人工妊娠中絶率と離婚率の関係

離婚率と中絶率間に相関を認めなかった。

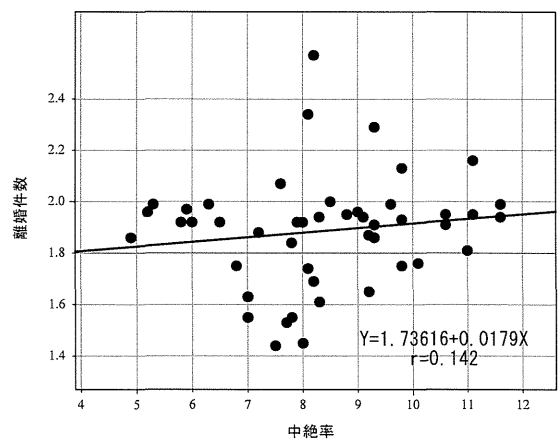


図 13. 人工妊娠中絶率と離婚率の関係